



皆様方におかれましてはご壮健のことと存じます。

和歌山市議会議員としての第2ステージに入って早1年が過ぎました。今年度の6月議会本会議で、平成25年度12月議会以来の一般質問に立ち、尾花市長の政治姿勢について質しました。以下、質問と答弁の簡略化した内容でございます。

㊦ 伏虎中跡地へ県立医大薬学部の誘致を計画しているが、市を代表する観光地の和歌山城の真向かいに立地

する必然性等が見出せない。景観面にも影響をきたす恐れもある。

**市長** 跡地に建設する市民文化交流センター（仮称）と薬学部の設置で生まれるにぎわいが周辺の民間施設にも好影響を与え、活性化がまちなかの魅力向上につながり、新しい人の流れを創出するという好循環が期待できることから適地であるに至った。

㊦ 用地無償貸与で調整しているが、非常に厳しい財政状況などを考慮すれば有償にすべきでないか？

**市長** 大学誘致は、地域にさまざまな効果をもたらすことから多くの自治体で用地確保など支援を行っている。初期投資額176億円は県の全額負担。市は校舎解体と整地、土地無償貸与で調整しており、適切な時期に関連予算など議案を提出する予定です。

市長の、市政発展のための前向きな姿勢については評価していますが、伏虎中跡地利用について、そして薬学部誘致については問題があると考えています。今後さらなる議論が必要です。

和歌山市議会 至政クラブ 遠藤 富士雄